

## 株式会社 タンドル

事業名 「ニットCAD」と「ホールガーメント専用機」導入による生産プロセス高度化と自社企画商品の開発

ニットCAD化によりデザイン提案を容易に。他社には作れないニット製品を提供



導入したホールガーメント横編機

### 事業の背景・目的

現状では、ニット製品の店頭での販売時期が各アパレルメーカーとも同じであるため、見本の依頼、発注及び生産の時期が重なる。

また、アパレルメーカーも何が売れるか判らないため、多品種、少ロットで市場の様子を伺い、売れ行きを確認したのち短納期の追加発注がなされる。未だにOEM生産が主流である。このため、「ニットCAD」と「ホールガーメント専用機」導入による、既存の生産工程の改善と自社企画商品の販売拡大を行い、売上アップ、従業員の賃金アップ、地元山形のPRを目指していく。

### 事業内容

「ニットCAD」導入によるデザイン開発と効率化、既存の生産工程の改善を行う。

「ホールガーメント専用機（以下WG）」導入によるエアスプライサーおよび可動性シンカーを利用した生産時間の短縮、効率化、コストダウンを狙い、市場競争力の向上と自社企画商品の販売拡大へとつなげる。



島山社長



可動型シンカー搭載機のため捨て編みが格段に減少



このニットの編立だと生産効率が30%上がる

## 事業の成果

ニットCAD導入により3Dシミュレーションを作成可能になり、画像を用いた遠隔地との打ち合わせに効果があった。

また、これまで別々に作成していた編機データとシミュレーションの連動が可能になり、編立プログラム作成の時間短縮ができた。

WG導入では糸繋ぎによる時間短縮および稼働率向上、編立速度向上による生産時間の短縮。また従来機ではきれいな襟周りのカーブを作るために手で裁断していたが当設備によって編立時に裁断なしで作ることが可能となり、コストダウンに繋がった。

これら2つの導入によって生産工程の改善と原料のロス、OEMを維持したまま自社ブランドの開発と拡販への道筋ができた。

## 今後の展望

現在は、新型コロナ流行の影響で消費者の購買意欲が低下しており売上はダウンしている。しかし、終息後に向けてEC販売への挑戦、要望に合ったオリジナリティのある自社ブランド商品の開発と拡販を目指していく。

今後も、WGを活用した原料ロスの少ない、自然環境に優しい高品質な製品提供を山形から発信していく予定である。



導入したニットCAD

## 株式会社 タンドル

- 代表者：畠山 徹
- 設立年：1980年（昭和55年）
- 所在地：山形県山形市大字鮎洗字仲田861
- 資本金：1,000万円
- 従業員：22名
- TEL：023-684-3641
- FAX：023-684-3654
- e-mail：tohru-hatayama@cashmere.jp



社屋外観

## 業務内容

当社はニット製品販売会社として1980年（昭和55年）に創業し、1999年（平成11年）よりWG製品の製造を開始した。WGの生産力を武器に、通販会社や専門店へのニット製品製造販売を行っている。また、近年立ち上げた自社ブランド「Sellyty」の開発・販売を行っており、高品質なニット製品「Yamagata Knit」の提供で山形県のPRも目指している。